

松阪市民病院呼吸器内科で肺癌診療を受けられた患者様・ご家族様へ

「非小細胞肺癌に対するマルチ遺伝子検査を用いた分子診断に関する
後方視的研究」について

(1) 研究の目的

この度、非小細胞肺癌に対し、治療方針決定のため単一遺伝子検査および、次世代シーケンサーやマルチ PCR 検査を用いた遺伝子パネル検査を施行されました患者様の過去の診療情報を用いて、遺伝子検査の解析成功率に関わる研究を実施致します。近年、肺癌領域ではドライバー遺伝子を標的とする分子標的治療薬、コンパニオン診断薬の開発が進んでおり、非小細胞肺癌において、分子標的治療薬を用いた個別化治療は高い効果を示し、現在の標準的な肺がん治療となっています。一方で、検査する遺伝子数が増えるにつれ、従来の単一遺伝子検査では検査検体の消費、検査時間の長時間化、検査費用の高額化が懸念され、マルチ遺伝子検査（次世代シーケンサーやマルチ PCR 検査を用いた遺伝子パネル検査）への期待が高まっております。しかし、検体の量不足や質の不良により解析が困難であることが経験され、適切な検体採取、検体処理、検体選択への関心が高まっております。本研究ではこれまでにマルチ遺伝子検査等の分子診断を受けられた患者様の臨床背景、画像情報、検査法、病理結果、分子診断検査選択、解析成功率などを見直し検討することで、より多くの肺癌患者様に、より良い検査および治療を提供し、お役立てできるよう本研究を実施致します。また、場合により保存している余った病理検体量が十分ある場合、その一部をお借りして遺伝子量や質の評価に使用させていただく場合がございます。なお、研究により皆様に新たに生じる御負担は一切なく、また、新たに検査を追加することもございません。本研究は、皆様の過去の診療情報・資料を解析することで、同じ疾患に悩む患者様の医療の改善のために役立つものと考え実施する所存でございます。何卒、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(2) 研究対象について

2022 年 2 月から 2024 年 3 月末までに、非小細胞肺癌に対する治療方針決定のため、分子診断を実施された方。

(3) プライバシーの保護について

この研究では個人を特定できるような情報は一切登録されません。

(4) 研究結果の公表について

研究結果は、医学研究雑誌や学会等で発表される予定です。

その場合も、個人を特定できる情報は一切含まれませんのでご安心ください。

※この調査対象となられる方で、ご自分あるいはご家族の情報を登録したくない場合は、下記連絡先までご連絡ください。なお、お申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。既に研究報告させていただいている内容に関しては登録の取り消しはできませんのでご了承ください。

【連絡先】

松阪市民病院 呼吸器センター 呼吸器内科

住所：〒515-8544 三重県松阪市殿町 1550 番地

電話：0598-23-1515（代表）

担当医師：坂口 直